

(別添 4)

【大口町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本計画は、学習指導要領および中央教育審議会答申「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」（令和3年1月）の理念に基づいています。ICTを活用した確かな学力の育成に取り組んでいきます。

2. GIGA第1期の総括

○端末とネットワークの整備

- ・令和3年度までに、全児童生徒に1人1台端末を配備し、高速・大容量の通信ネットワーク環境を構築しました。

○学びの実践の推進

- ・各学校でICTを活用した授業実践が進み、児童生徒の主体的な学びが促進されました。
- ・R5年度までICT支援員を配置し、ICT活用スキルの向上を図りました。

○明らかになった課題

- ・端末の維持管理：端末の老朽化や修理対応に課題がありました。
- ・教員の負担増加：ICTを活用する授業準備や機器トラブルへの対応が教員の負担となりました。
- ・活用の格差：校間や教員間でICT活用の度合いにばらつきが見られました。

○課題に対する解決策

- ・端末の更新計画の策定
- ・長期的な視点で端末更新の計画を立て、安定した運用を確保します。
- ・サポート体制の強化：年度移行時期の繁忙期等についてICT支援員を設置し、教員の負担を軽減します。
- ・教育格差の是正：教員向けの継続的な研修を実施し、ICT活用のノウハウを共有します。

3. 1人1台端末の利活用方策

○利活用の前提

- ・児童生徒向けの1人1台端末環境を維持するため、端末の整備および更新を計画的に行います。
- ・高速大容量の通信ネットワーク環境を引き続き整備します。

○利活用の目標

(1) 個別最適な学びの実現

- ・各児童生徒が自身の学習ペースや興味に応じて、主体的に学べる環境を整備します。
- ・オンライン学習教材や校務システムを活用し、一人ひとりの学びをサポートします。

(2) 協働的な学びの促進

- ・共同作業やディスカッションを通じた学びを強化し、コミュニケーション能力や問題解決能力を育成します。
- ・クラウドツールを活用したプロジェクト型学習を導入します。

(3) 学びの保障

- ・教室内外でICTを活用した学びの機会を確保し、障害や家庭環境に関係なく、全ての子どもが平等に学べるよう支援します。
- ・遠隔授業やハイブリッド型授業の導入により、緊急時でも教育機会を途絶えさせない体制を構築します。

○他市町村および先進的事例の活用

- ・文部科学省リーディングDXスクールの先進事例を参考にし、実践的な活用法を導入します。
- ・他市町村と連携し、共同調達会議を通じて課題解決や効率化を図ります。

○学校現場との連携

- ・学校現場の声を反映するため、ヒアリング・情報担当者会を定期的に実施します。
- ・教育委員会の指導主事や端末整備担当者が連携し、現場の課題に対応します。